

## 新入生誓いの言葉

今日、私は憧れの制服に袖を通して、新しい自分になったような特別な朝を迎えました。私たち二十期生は上水高校の入学式を迎えることができました。校長先生をはじめ諸先生方、先輩方、そして来賓の皆様、本日は私たちのためにこのような盛大な式を挙行していただき、誠にありがとうございます。新入生を代表してお礼申し上げます。そして、こうして家族に見守られながら入学式を迎えられることを大変うれしく思います。

今日、私たちは上水二十期生としての第一歩を踏み出しました。この先の高校生活に対する不安と、それよりもっと大きな期待を胸に上水高校へ入学しました。

私には「教育者になる」という夢があります。私が中学二年生の時、小学生とともに道徳の授業をする機会がありました。意見が出せず、困っている小学生に考えるヒントを与えると、ひらめいてどんどん意見を発表しました。その姿を見て、教えることは楽しいと実感しました。そして、教育者という職業に興味を持ちました。この夢を実現させる上で、私は将来に必要な勉強を選択できる単位制に魅力を感じました。

また、私は、上水高校の国際理解教育に興味を持ちました。私はグローバル化に対応できる教育者を目指しています。外国の子供の受け入れが進む社会で、これから求められるものは外国語によるコミュニケーション能力だと思います。そのため、上水高校のネイティブな英語を目指す教育方針のもとで学業に励みたいと思いました。

さて、私たちの中学校生活の大半は新型コロナウイルス拡大防止のため思い描いていたものではありませんでした。3年前に行われた中学校の入学式、運動会や合唱コンクールなど様々な行事が制限されてきました。しかし、私はこの状況の中で得た力があります。それは、楽しむ力と柔軟な創造力です。上水高校では、実行委員をはじめ、行事などの中心となり私のアイデアを発信したいです。どんな状況であってもあきらめず、どう楽しむかをいつも工夫して高校生活を色濃いものにしたいと思います。

私たちは義務教育9年間を終え、「自立」を実感することが増えるでしょう。高校生だからと一人で抱え込んでしまうこともあると思います。でも、私は、相手に頼られ、また頼る勇気を持つことも一つの「自立」だと考えています。この先、二十期生と積み上げていく絆で、お互いを支え合い高め合っていきましょう。改めて、二十期生の皆さん、これから三年間よろしくお願いします。

最後になりますが、この先、先生方や先輩方、また私たちの一番の理解者である保護者の皆様など、多くの場面でたくさんの方々にお世話になると思います。どうか温かいご指導をよろしくお願い致します。そして、私たちは上水高校が築き上げてきた伝統を引き継ぎ、二十年目の新しいステージへ踏み出せるよう、学業、部活動にも精進することを誓い、新入生の挨拶とさせていただきます。

令和5年4月7日 新入生代表